

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回入間市スポーツ推進審議会（書面会議）
開 催 日 時	令和3年3月25日（木）（会議結果成立日）
開 催 場 所	（書面会議）
議 長 氏 名	斧澤靖夫
出席委員(者)氏名	斧澤靖夫、山本寛、阿佐木綿香、荒井正巳、大川順子、大空直美、小野順治、木村恵子、齋藤武夫、齋藤寿一、櫻井輝男、塩澤榮一、富田ちとせ、松永一郎、村野裕子（書面表決書提出者）
欠席委員(者)氏名	なし（書面表決書未提出者）
説明者の職氏名	
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）市スポーツ推進計画 施策2「スポーツ環境の整備」について</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）令和3年度体育施設改修工事について</p> <p>（2）令和2年度スポーツ・レクリエーション事業について</p> <p>（3）令和2年度新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設休館対応について</p> <p>4 閉会</p>
非 公 開 理 由	書面会議による開催のため
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	<p>資料1 令和2年度第2回入間市スポーツ推進審議会の書面会議について</p> <p>資料2 スポーツ推進計画・施策2「スポーツ環境の整備」ご意見用紙</p> <p>資料3 令和3年度体育施設改修工事について</p> <p>資料4 令和2年度スポーツ・レクリエーション事業について (令和2年10月下旬から令和3年3月)</p> <p>資料5 入間市スポーツ推進計画 から一部抜粋（P7、P10～12）</p>
事務局職員職氏名	
議録作成方法	要点記述

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1. 議事進行について

令和3年3月17日(水) 資料一式郵送

令和3年3月25日(木) 返送期限

令和3年4月20日(火) 集約意見の会長確認

※返送期限までに、委員15名全員から資料一式の受領・精読の確認書とご意見用紙の提出を受領し、会議出席者が過半数を超えたため、会議が成立したものとみなします。

2. 議題

資料2 スポーツ推進計画・施策2「スポーツ環境の整備」ご意見用紙

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>【質問1】様々な種類のスポーツが行われ、スポーツのニーズが多様化・高度化する中、指導者を確保・養成していくには、どのような方法が考えられますか。委員の皆様のご意見をお願いします。</p> <p>※スポーツ団体アンケート結果では、青少年対象のスポーツ団体の課題の第2位に「指導者の不足」が挙げられています。</p>
阿佐委員	<p>地域スポーツにおける指導者不足の問題は、難しい問題だと思います。</p> <p>「指導者研修制度の充実」や「トップアスリートのセカンドキャリア支援との連携」「指導者表彰制度の確立及び発展」などの施策が成功した例などもありますが、個人的にはスポーツ人口を増やし底辺を広げることで自ずと頂点も高くなり、将来的には指導者の発掘につながるのではないかと考えます。</p>
荒井委員	<p>なぜ、「指導者の不足」が起きるのでしょうか。指導者資格を有する人がいない、指導者と活動時間・曜日等が合わない、指導者を紹介してくれる機関を知らない、指導者に活動する余裕がないなど様々な要因が挙げられます。</p> <p>要因の一つ一つへの対策を考えて、出来ることから取り組むしかないと思います。例えば、各地域活動への指導は、経験のある指導者を発掘したり、指導者がいる団体からの情報（指導依頼、指導者紹介、指導者情報等）を得ることで指導者を見つけます。また、スポーツのニーズが多様化・高度化しているのであれば、各スポーツ団体・協会が社会貢献のために指導者の育成と確保に取り組んで頂き、指導者紹介や派遣が出来るような支援を行政が行う事などです。</p>
大川委員	<p>指導者の確保は、多くの人、特に子ども達にとっては必要不可欠で、スキルアップ又、継続させる大きな存在となります。また、グループ内での意見の集約、万が一の事故処理などもめる原因をなるべく小さくすることができるためには、知識と経験が必要とされるでしょう。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大川委員	<p>現実問題として、指導者の価値観が低い様に思われます。指導者のほとんどがボランティアで、その方の情熱に頼っているところがあり、あまりに甘えすぎです。入間市として、指導者へのしっかりとしたポジション、アピール教育を要望します。プライドを持って指導することが大事だと思います。スポーツリーダー養成講座、レクリエーション指導者養成講座の開催は、将来に希望が持てると思います。ちなみに、日本スポーツ協会でも指導者の養成を行っています。</p>
大空委員	<p>市民の中に指導者資格を所持していないが、学生時代や社会人になってから、スポーツ・運動に関わって来た人が沢山おられるのではないのでしょうか。指導者と一緒にまずは経験者の方々に手伝ってもらい、これを確保・養成という方法を考えます。</p>
斧澤会長	<p>指導者を確保・養成するには講習会が必要で、私の知る限り指導者の方々はそれを望んでいます。現在は、決められた日程に参加を希望するようになっていますが、時間的に難しい方が多いため、参加しやすい日時・時間帯を各連盟と相談して開催すれば、より多くの方が参加が望めると考えます。</p>
小野委員	<p>入間市スポーツ推進計画には様々な種目の活動場所、施設・設備、技能向上のための講習会等の機会が設けられていることが分かります。一般市民に多くの事業があることを知ってもらい、青少年対象のスポーツ団体では指導者が足りないということを理解してもらうことが必要です。</p> <p>①現在指導者として関わっている人が、参加している子どもの保護者や知人等、身近な人に声をかけ、後継者を育てること。</p> <p>②20代、40代、30代の若い人でも指導者になりたいと思っている人は多いという統計もあるので、かつて活動に参加していた人に声をかけること。</p> <p>③指導者として必要な知識、技能の講習会を行い、スポーツ指導員としての資</p>

発 言 者	発 言 内 容
小野委員	<p>質の向上を図ること。</p> <p>④高齢者のスポーツクラブでは指導者を要望する団体は少ないが、それでもソフトボールの宇津木氏等、日本のトップクラスの人の理論、実技、指導力は強い力で多くの人に感動を与えていること。</p>
齊藤(武)委員	<p>スポーツニーズの多様化はともかく、高度な科学的トレーニングの指導者をボランティアで集うのは責任が重すぎるので、確保するのは難しい。指導者が不足しているのは、仕事、家庭との両立が大変になり長く続けられない事が原因なのでは。専門職として、指導者を市職員からも何人か養成出来たらいいのではと思います。</p>
斎藤(寿)委員	<p>指導者確保に係る具体策は思い浮かびませんが、養成の過程においては、旧態依然とした技術指導にのみ傾るのではなく、先進のコーチング理論やメンタルヘルス理論等を含む心技体の調和のとれたカリキュラムの策定が必要であると考えます。</p>
櫻井委員	<p>現在活動している各スポーツ団体の公認資格指導者を、市が指定指導者として認定し、希望する市民に対し定期的に指導者育成を開催してはどうかと思います。</p>
塩澤委員	<p>指導者養成講習等を市で開催するのは大変なので、オンラインで開催しているものを探すなど、参加できる講習会を市民に知らせていくのが早いのではないかと思います。</p>
富田委員	<p>以前の審議会で中学校部活動の指導について、学校側は外部指導者の受入れが難しいと言ってましたが、教職員だけでは負担が大きすぎるし、技術面指導にも無理があると思います。外部指導者を受け入れると、問題が起こるリスク</p>

発 言 者	発 言 内 容
富田委員	<p>もあり得ることが消極的になる理由の一つだとしたら、指導者育成講座等の受講していることが必須条件にするなど、時間をかけて人材育成するのはどうかと考えます。</p>
松永委員	<p>体育協会等の協力を得て、市民のスポーツ・レクリエーションの必要性を唱え、指導者養成等を行いながら進めていくことが必要と考えます。</p>
村野委員	<p>大学生などの若い世代を指導者として取り込むことは出来ないでしょうか。入間市には大学が無くなりましたが、飯能市や狭山市など近隣の大学に働きかけてみてはどうかと思います。</p>
山本副会長	<p>入間市ではジュニア対象のスポーツ団体は、少年野球やサッカー、バスケット、新体操などが中心に行われていると認識しています。どの様なジュニアチームが存在し、どのチームに指導者が足りないのか十分把握できていませんが、バドミントンを例にあげれば、入間市ではジュニアチームは無いので、小学生でバドミントンをやりたいと思うと、飯能や所沢、鶴ヶ島のジュニアチームに参加しているのが現状です。小学校の部活動は無いと思います。例えば学校外のジュニアチームが出来たとし、当初はジュニアの親が経験者・指導者として活動してくれると思いますが、そのチームが長期継続されると、経験を持つ指導者が不足していく傾向が見受けられます。ジュニアチーム育成全体を考えると、問題が多岐にわたり解決に至らない可能性があります。現在のジュニアチームで、指導者不足を訴えているチームには、対応できる大人の団体を紹介し協力を依頼するのも一案となります。ジュニア以外の団体への指導者不足に対しては、入間市スポーツ推進委員協議会の充実と活用を考えます。</p>
事務局	<p>【質問2】国はスポーツを「する」「観る」とともに、市民が様々な形態でスポーツに関われるよう、「支える」スポーツもまた重要と位置づけています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>「支える」スポーツとは、主にイベントや大会、教室等の運営を行う「スポーツボランティア」を指しますが、多くの市民にスポーツボランティアの活動に参加いただくためには、どのような方法が考えられますか。委員の皆様のご意見をお願いします。</p>
阿佐委員	<p>「スポーツボランティア養成研修会の充実」とともに、「スポーツボランティア人材バンク」システムをつくり、養成研修会を終了した方やスポーツボランティアを行いたい方を対象にどんなサポートならできるか、どんなサポートがしたいのかを把握し、大会やイベント、教室を運営する際に必要なサポートができる方にお声掛けをするシステムづくりが効果的かと思います。また、「スポーツボランティアステップアップ研修」などスポーツボランティアの方のモチベーション維持のための方法も検討が必要だと思います。</p>
荒井委員	<p>イベントや大会等の運営を行うのは、イベントや大会を企画した団体・組織だと思います。競技会での選手以外のメンバー、保護者、OBやOGなどその競技関係者の協力と支援を得て行われているので、イベントに来てくれた方や競技応援者などの方に、「運営サポーター（仮称）」の参加を呼び掛けるのはどうでしょうか。「運営サポーターコーナー」を設けて1時間程度で誰でもできる内容を用意し、参加者は特典が得られるようにする。見る方、来る方を参加型にすることによりボランティアと身構えることがなく参加してもらえるのではと考えます。</p> <p>運営を支える「スポーツボランティア」がいてくれればいいなとは思いますが、育成が出来るか、活動体制の整備を行うことが出来るか、課題はあると思います。</p>
大川委員	<p>技術向上の部分以外では、専門のスポーツにかかわらずボランティアできる人を集め、交換会や専門以外のスポーツでのボランティアを経験させて、横の</p>

発 言 者	発 言 内 容
大川委員	繋がりを増やし、口コミで仲間を増やす努力が必要と思う。本音を言えば、単なるタダ働きでは参加する方が魅力を感じないと思います。
大空委員	「スポーツボランティア」という言葉は、重圧感が強くボランティア活動への気持ちが引っ込むのではないかと感じます。ボランティアの内容は様々だと思えます。一つの提案ですが、今までの活動の中で中学生にボランティアをお願いし、参加してもらっていますが、参加はいつも決まった学校だけでした。市内全中学校に声掛けをし、社会参加への第一歩にして欲しいと思います。市民へも今までとは違う呼びかけをしてはどうでしょうか。
斧澤会長	現在のスポーツボランティアの方々が、たくさんのスポーツ活動をして頂いています。負担が多く、体力的にも時間（日程）的にもきびしく思います。そこで若者、特に中学生・高校生にもっと参加を呼びかけて、底辺を広げることで、将来彼らがこの市のスポーツリーダーになってくれるのではと思います。
小野委員	支えるスポーツへの参加は、①各スポーツの審判、記録員等の育成の機会を設け、性別、年齢を問わず、スポーツに関わりやすくすること。②将来、医療、栄養、スポーツに関わる仕事を目指して学んでいる学生にもサポートしてもらえそうな仕組みを考えること。特にパラスポーツにはサポートの必要性が高い。③コロナ禍の今は難しいですが、中学校の部活動、スポーツ少年団の活動、成人の活動の様子等、一般市民に広く PR することによって見学しやすい環境を整えること、等が必要と考えます。
木村委員	市報では記事掲載が小さく目立たないので、市民が集まる公園、駅、商店等にボランティア募集のポスター掲示を考えます。
齊藤(武)委員	お互いに知り合える「仲間づくり」から始める事です。

発 言 者	発 言 内 容
齊藤(武)委員	<p>紙面での参加募集には限りがあるので、同じ考え方、同じ趣味を持つ仲間同士で参加を募集する方法などもあると思います。</p>
櫻井委員	<p>①スポーツ・レクリエーション活動については、市民に知られていない部分があるので、地域の祭り会場や多数集合するイベント時に、種目別（1～2種目）のコーナーで実演や資料配布でPRします。</p> <p>②同上の種目をメディア（ケーブルテレビ、ちゃっぴーなど）を活用、協力依頼し、指導者の演技、放映、放送により広く活動を宣伝してはと思います。</p>
塩澤委員	<p>ボランティアの皆さんを集めるには「気軽に参加できる」ということが一番だと思います。そこで「〇〇ボランティア」を募集します、といった呼びかけではハードルが高いと思いますので、「〇〇の大会があります」といった案内を出し、単発で参加できるような呼びかけで、第一歩を踏み出してもらうのが良いと思います。その一歩を踏み出してくれた方を、時間がかかるとは思いますが少しずつ増やしていくのが良いと思います。</p>
富田委員	<p>私自身、埼玉県庁の募集しているスポーツボランティアに3回ほど参加したことがあります。東日本実業団駅伝の沿道補助員です。自分自身も走るのが好きですが学生時代から駅伝ファンでもあり、このボランティアの募集があることを偶然発見して以来、可能な限りエントリーしています。エントリーした後、一度だけ事前説明会があり、仕事内容の確認とスタッフジャンパーと謝礼1,000円を受け取りました。当日は直接担当の場所に行くと、主要な交差点などの場合は安協とかスポ推の担当者がありますが、それほどの場所でないところはボランティアだけでした。</p> <p>話をすると「自分は運動が苦手だけれどこのようなかわり方ができるのが楽しい」という女子大生がいたり、「毎年楽しみにしている」という地元のオジ様がいたり。早朝からずっと立ち続けているだけの仕事ですが（もちろん安</p>

発 言 者	発 言 内 容
富田委員	<p>全に注視して) やりがいを感じ楽しんでいました。</p> <p>私が知っている限り、一度だけの説明会でも大きなトラブルは起きていないようです。入間市も駅伝大会等で募集するのは有りだとおもいます。スポーツ競技者としてではなくても関わることもできるのも楽しいです。端から見ると「もの好き」かもしれないですが、意外と「もの好き」な人いると思います。</p>
松永委員	<p>スポーツ指導者としての価値観や喜びを体現できるような方策が必要と思います。方策としては、例えば「スポーツ推進都市宣言」をする中で、市民の健康づくりの必要性を訴え、イベントや講演、教室、大会等を通じ地道に行っていくことと考えます。</p>
村野委員	<p>まず、一般の人には「支える」スポーツが重要だ、という概念がないと思います。「なぜ、支えるスポーツが重要なのか」魅力あるアピールが出来ると思います。そして、スポーツボランティアを募る際にも、「楽しそうだからやってみよう」と思えるアピールが必要だと思います。</p>
山本副会長	<p>現在入間市にはスポーツ推進委員協議会が、市教育委員会から委嘱されて活動しています(註:現在は市長から委嘱)。市内10地区の体育協会(4月よりスポーツ協会)からの推薦者及び市教育委員会からの推薦者により、構成される組織です。この会は「スポーツ普及部会」、「大会イベント部会」、「指導者育成部会」を持ち、活動の中に、自主的事業として「いつでも、どこでも、だれでも」できる事業を行うとともに、市体協(市スポーツ協会)の事業にも積極的に協力いただいています。この会の規則には、「市民の求めに応じてスポーツの実技指導に協力する」、「市が開催するスポーツ行事に協力する」などが掲げられています。この会の充実と活動活性を促進することが重要ではないかと考えます。特に、スポーツボランティアとして活動に参加を考えると、地区のスポーツ協会を中心とした協力体制を組むほうが参加しやすいのではな</p>

発 言 者	発 言 内 容
山本副会長	<p>いかと考えます。また、ボランティア参加には、スポーツ大会の広報活動の充実させる事が大切です。一流スポーツ選手・トップアスリートを身近に観ることができ、一緒に感動を共有する喜びが得られる経験を伝える事です。誰もが気軽に観戦できる環境整備が必要となります。</p>
事務局	<p>【質問3】市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進のためには、今後、どのような施設・設備の整備や改修、運営が必要と思われますか。委員の皆様のご意見をお願いします。</p>
阿佐委員	<p>「親しみやすく開放的な」ウォーキングコースやトレーニングジムなどがある体育施設があると良いと思います。入間市にも市民体育館や運動公園、武道館など比較的市民にも知られている体育施設以外にも地区体育館や運動場、スポーツ広場などありますが、それを知っている市民は少ないように感じます。</p> <p>学校開放なども含め、もっとより多くの市民が親しみやすく、開放的なものになると良いな、と思います。そのためには、スポーツの前後に仲間と集うことができるカフェスペースの併設など、スポーツをしない人も足を運びたくなる魅力があれば、スポーツにつながる機会にもなると考えます。</p>
荒井委員	<p>市民のスポーツ・レクリエーションの促進の特効薬はなく、イベントなどで知って頂くことも必要でしょうが、それぞれの活動の充実と理解者と協力者を一人で多く地道に増やしていくしかないのではないのでしょうか。安心・安全・快適・便利・利用しやすい施設になるように整備・改修を進め、幼児・高齢者・障害者が一つ屋根の下で利用できる環境づくりを目指し、人と人、活動と活動を繋げる運営をも視野に入れた総合的支援が必要と思っています。</p>
大川委員	<p>アンケート結果や自分自身についても、公共の施設で活動出来るのが理想で</p>

発 言 者	発 言 内 容
大川委員	<p>す。自身はテニスコート利用が多いのですが、入間市は残念ながら他市に比べると施設整備が不足しており、コート整備以外にも、備品の品質、コロナ禍での備品の扱い等、事故が無いからこのままでよし…ではなく、努力しているなあと思わせる改革が必要と考えます。設備、備品が向上するならば、当然使用料も上げられると思います。</p>
大空委員	<p>令和元年度スポーツ・レクリエーション団体アンケート集計結果にあった、要望の黒須運動公園トイレの設置（ソフトボール場側）、現在ある場所の数の増加・改修が必要と考えます。</p> <p>資料2の令和3年度体育施設改修工事計画が実施され、今後の施設利用者が増加すればと思います。</p>
斧澤会長	<p>予算との問題があるので、多くは望めないのではないかと考えます。</p>
小野委員	<p>①体育館など屋内のスポーツにおいては、ネットの傷みやそれを張るための支柱に対する要望が多く、屋外では利用後のグラウンド整備に必要なトンボ、ブラシの数が不足しています。場合によっては、購入費用を利用団体に負担させても良いと思います。</p> <p>②ウォーキングをする人も多いので、コースの整備と寺社、史跡等、市内の見所をPRしてはどうかと思います。</p> <p>③運動場、スポーツ広場の拡幅、トイレ設置、防球ネットの補修、腐食している支柱の修繕等、各施設の安全、衛生面の確保が必要と思います。</p>
木村委員	<p>地区体育館、学校体育館の登録要件（地区内の利用者、学校区内の利用者の人数制限）を見直して欲しいと思います。チームを作る上で制限があると存続できなく、チームを解散せざるを得ない会員もいました。</p> <p>多人数で行うスポーツでは、同地区、学校区でチームメイトを集めるのは難し</p>

発 言 者	発 言 内 容
木村委員	<p>くなっていると思います。</p>
齊藤(武)委員	<p>ジョンソン基地跡地に入間市では今までなかった施設が出来つつあると聞いていますが、どの様に活用させて頂くのか、それによって、大きな大会を開催するなどスポーツ活動がより前進する様に願いたいと思います。</p>
櫻井委員	<p>市の施設は老朽化が進んでいますが、計画的な改修で全てを予算的に出来ないと思います。市内の田畑、休耕地または野山を貸して頂けるよう所有者に交渉し、子ども達が自然的な遊びやレクリエーションが楽しめる方法も、将来的に考えても良いと思います。</p>
塩澤委員	<p>市のグラウンド、体育館、小中学校の運動場、体育館等、施設としては十分揃っていると思います。市報やホームページの活用など、施設をどう使えるかの周知、呼びかけが大切ではと考えます。</p>
富田委員	<p>インディアカをやっている私自身の団体でも問題なのは新規加入者数の減少です。この流れを止めるのは難題ですが、これは各団体が声かけ等するしかないと思います。施設の問題ではないです。</p> <p>今の時代で市で取り組むべきは、高齢者と親子と個人が利用（参加）しやすい環境です。</p> <p>私事ですが、昨年から全くスポーツをしない主人を何とかしたいと思い、一緒にウォーキングを始めました。宮寺なので近場の狭山湖周辺から始め、加治丘陵、小谷田、藤沢や狭山ヶ丘の駅まで行ってみる等々。運動を全くしない人に運動をさせるには歩くことが一番の入口だと思います。いきなりスポーツの立派な施設を作るより、歩けるクツさえあればよいのだからお金もかからない。整備については加治丘陵の木道のように常に整備、管理が行き届いているのが良いですね。木道は朽ちていくものですが、いつも補修工事をしてキレイ</p>

発 言 者	発 言 内 容
松永委員	<p>です。公園等の遊具やベンチなどもメンテナンスしていれば明るいイメージになると思います。</p> <p>入間市の人口規模からしますと、施設数的には充足していると思いますが、経年による老朽化や設備機器が古く使いづらひように見えますので、計画的な整備が必要と思います。</p> <p>スポーツ施設の利用を見ますと、屋外、屋内設備共市民利用は土日休日には多人数利用されていますが、平日の昼間はあまり利用されていないので、より効率的な運用が必要と思います。</p> <p>しかし最近では、グラウンド利用については高齢者によるグランドゴルフ等利用が盛んになり好ましい傾向と見えます。施設利用に当たっては効率的な整備や時間の区分を話し合いの中で行い、なるべく競合によるトラブルを防ぐようにする必要があります。また、利用しやすい申し込み方法の工夫が必要と見えます。</p>
村野委員	<p>体育施設を常に使っていないので、整備や修繕については全く分からず申し訳ないですが、運営について、どんな施設も「誰がいるか」が大切だと感じます。受付などにいらっしゃる方が笑顔で迎えてくれるのが一番です！</p>
山本副会長	<p>スポーツ推進審議会委員の立場からは、現在の運動施設の設備・備品の整備及び改修を進め、安全なスポーツ・レクリエーションの運営ができるように希望します。また、受益者負担の考えから、施設使用料の値上げも検討されていますが、できるだけ低料金で使用できるようお願いします。</p> <p>今後、施設等について、個人的には市郊外に総合スポーツ施設が建設されればよいと考えています。また、そのような大型スポーツ施設とは別になりますが、質問4にも関係する事として、体育施設ではありませんが市内に多くの緑地公園を整備し、そこでの幼児期からの親子の触れ合いが運動習慣の育成に繋がるのではないかと考えます。さらにその公園で、スポーツ推進委員が親とと</p>

発 言 者	発 言 内 容
山本副会長	<p>もに縄跳びやトランポリンなど遊びを通じてお子さんに運動の楽しさを伝える事が出来れば理想的と考えます。</p>
事務局	<p>【質問4】その他、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進のために、どのような環境づくりや支援が必要と考えられますか。委員の皆様のご意見をお願いします。</p>
阿佐委員	<p>全国的にみてもスポーツを行っている頻度の低い子育て世代がスポーツをしやすい環境づくりを行うことが、より多くの市民のスポーツ、レクリエーション活動の促進につながると考えます。そのためには、家族で楽しめるスポーツ環境づくりや体育施設にキッズスペースをつくったり、託児施設が併設されていたり、また家族で楽しめるスポーツ教室の開催なども、日常的なスポーツ、レクリエーション活動の促進につながると考えます。</p>
大川委員	<p>誰でもスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境が必要です。</p> <p>週2～3回スポーツを楽しんでいる方々は、継続している場合が多い様ですが、仕事や色々な事情でスポーツから離れてしまっている人への誘いは難しいと思います。市のイベントとして、どのような条件の人でも参加できる、基礎運動、ストレッチ等で、有名な先生を招いて家族、友達、スポーツ仲間と一緒に楽しめる内容で、3回程度参加で終了証が渡せるくらいが良いと思います。</p>
大空委員	<p>現在、新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言により、事業計画が中止になり、なかなか運動が出来ない状況ですが、個人や各団体はそれぞれ工夫しながらスポーツを行っています。</p>
斧澤会長	<p>環境づくりや支援は、お金がかかります。</p> <p>それとは別に、若年層を対象に専門的な指導者・アスリートを呼んで活動の</p>

発 言 者	発 言 内 容
斧澤会長	底辺を広げていけば今後のスポーツ・レクリエーションの発展につながると考えます。
小野委員	地区の公民館や掲示板、入間市のホームページなどから、各スポーツ活動の実態がいつでも分かるような、PR情報が見られるとよいと思います。
木村委員	市のスポーツ環境は、スポーツ、レクリエーション活動するには充実していると思います。
齊藤(武)委員	コロナの関係で現在は出来ませんが、オリンピックを期に今後は少しずつ活動を前に進めていく事です。たとえば、グラウンドゴルフには非常に多くの愛好者がいます。市の大会として回数を増やしていく、競技の内容変更も含め、今ある大会を見直していく事も大切かと思ひます。
櫻井委員	スポーツ推進委員の方々による意見交換による種々のアイデアで、例えば、各地域への出前指導支援活動を行うなどがあります。
塩澤委員	今ある施設を上手に使うことでよいと思ひます。
富田委員	数年前に行っていたような、ウォーキングのイベントを開催して欲しいと思ひます。
松永委員	一面的な見方になりますが、生理的現象に必要なトイレの数量的整備や機能的整備が必要と思ひます。他の自治体の施設利用をしたとき、トイレの改善が多く見受けられます。特に女性利用に配慮された改修がされてきています。一般家庭においてもウォシュレットが普及されており、時代的にはウォシュレット化が必要かと思ひます。

